

平田村

農業委員会だより



NO 2

2012.11.30

編集・発行 平田村農業委員会

☎0247-55-3115

福島県下農業委員会大会

駒木根 茂

去る十一月八日に第五十七回福島県下農業委員会大会が開催され、本村農業委員会からも十四名が参加しました。

約千二百名が集い、会場となった福島市のパルセ飯坂は熱気にあふれ、次の項目が決議され政府に要望することとなりました。

一、東日本大震災や新潟、福島豪雨からの早急な復旧復興。

二、県内全原発の廃炉「脱原発」に向けた国づくりの発信、農地除染の推進。



また、大会冒頭平田村農業委員が全国農業新聞普及優良賞を、情報活動功労者として矢吹正一農業委員、三本松喜良農業委員、蓬田源助農業委員の三名が表彰されました。

翌九日には、宮城県蔵王町を訪れ、法人として多面的な営農を展開し、耕作放棄地の解消にも取り組んでいる「エコファーム蔵王(株)」の代表と交流、意見交換を行い、直営の産直市場「みんなの野」を視察研修しました。前日の大会参加と併せて大変異議深い研修となりました。

最後の「永田小学校、幼稚園児」による稲刈り体験授業



「手、足にも知恵を」と言う事での体験授業は、平成元年から永田小学校田として久保木源農業委員が、「いろいろな体験の中で、収穫の喜びや農業の苦労を知ること、食べ物に対する感謝の気持ちを知ってほしい」という思いから、学校田として提供してきました。永田小学校の特別非常勤講師として、二十四年間続けてきた授業ですが、来年度か

ら永田小学校は蓬田小学校に統合されるため、この日が最後の授業となりました。永年子ども達を指導してきましたが、「一抹の寂しさを覚える」と久保木農業委員は話されました。

十一月十日の収穫祭では、自分達で刈り取りしたお米を使つての餅つきを行い、つきたてのお餅を子ども達やその父兄にふるまわれました。

耕作放棄地を考える

佐藤 四郎

耕作放棄地解消の着実な推進のため、耕作放棄地の状況把握や面積の管理を徹底することが重要であることから、農業委員会は毎年八月から十月頃に実施される農地パトロールを活用し、「耕作放棄地の解消、荒廃度合いの進展等を確認」して、農地基本台帳に整理しています。農業委員会は、農地基本台帳に耕作放棄地として整理された情報等に

ついて、毎年、農地パトロール等の後に村に報告しています。昨年度の東日本大震災の影響と福島第一原発事故により葉たばこ耕作者の廃作に追い詰められたのも一つの原因であると考えられます。

自然と緑豊かな平田村に一日も早く戻る日を願いたいものです。

耕作放棄地の原因となる担い手不足の解消に関しては、村農業委員会並びに農業委員に相談してください。



農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業者だけが加入できる公的年金です。

次の三つの要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

《加入要件》

☆年間六十日以上農業に従事

☆二十歳以上六十歳未満の方

☆国民年金第一号被保険者（免除者を除く）

☆八十歳までの保証付きの生涯年金

☆税制優遇（特例措置）でとてもおとくです。

◎ 詳しくは、農業委員会事務局、又はJAあぶくま石川まで

《お知らせ》

農地を相続した場合は・・・

届出が必要です。

農地法の改正により、相続などによる農地の権利取得を農業委員会がきちんと把握し、農地の有効利用に努めます。

手続きは簡単ですので、農地のある農業委員会に届出をしてください。

編集後記

生田目 昌和

秋の収穫も終わり、今年度から米の全袋検査を実施しています。

消費者の皆様へ安全、安心で美味しい米をお届けするために、平成二十四年に村内で生産された全ての米（販売米、非販売米、飼料用米など全ての米）は、基準値を超える米袋は検出されず、村民の皆様には、安心されたかと思えます。検査を受けた米には、「検査済ラベル」を貼付し、確認出来るようになっていきます。

この検査を確実に行って前に進んで行けば、風評被害も一掃できると確信しています。